

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

| 項目番号 | 第7期介護保険事業計画に記載の内容 | | | | H30年度(年度末実績) | | |
|------|-------------------|--|------------------------------|---|--|------|---|
| | 区分 | 現状と課題 | 第7期における具体的な取組 | 目標 (事業内容、指標等) | 実施内容 | 自己評価 | 課題と対応策 |
| 1 | ①自立支援、介護予防、重度化防止 | 平成31年4月1日現在、本市の人口は69,932人、高齢化率は29.26%ですが、令和7年には高齢化率が34.4%となることと推計されていることから要介護者数の増加も見込まれています。 そのため、本市では要介護状態となることを予防する取組として、介護予防教室の開催や高齢者が集まる場への講師の派遣事業を実施していますが、教室への参加実人数の拡大や、高齢者の集まる場への利用者の拡大が課題となっています。 | 介護予防の考え方やその実践方法を普及啓発する。 | 市主催の介護予防運動教室の開催 (H29) (H30) (H31) (H32) 教室数 13 25 25 25 開催回数 104 200 200 200 参加実人数 233 250 250 250 | 市主催の介護予防運動教室の開催状況(H30度) 教室数 25 開催回数 200 参加実人数 244 | ◎ | ○運動教室では、継続して参加を希望するため、参加実人数拡大の妨げになる。そのため、年間の参加可能な教室を決め、新規参加者が申し込みやすい状況とする。 ○参加者の拡大のため、教室内容を運動の他に認知症予防や閉じこもり予防の内容も入れる。 ○評価の指標として参加者等へのアンケートで次の項目を聴取する ①15分くらい続けて歩いていますか ②この1年間に転んだ事がありますか ③週1回以上外出をしていますか |
| 2 | | | 高齢者が集まる場への介護度 重度化防止推進員の派遣 | 出張介護予防運動教室の開催 (H29) (H30) (H31) (H32) 開催回数 168 180 180 180 開催団体数 10 10 10 10 参加延べ人数 1744 1800 1800 1800 | 出張介護予防運動教室の開催 開催回数 179 開催団体数 11 参加延べ人数 1798 | ◎ | ○目標は達成できているが、出張介護予防教室を開催するために市から高齢者団体に派遣をしている介護度重度化防止推進員の高齢化や人数の減少が見られるため、令和元年度の事業で名称を介護予防リーダーと改め、市独自に養成をする。 |
| 3 | ②介護給付等費用の適正化 | 訪問介護のうち、生活援助頻回訪問について、基準回数以上の実施が見込まれる案件について、他職種の方の意見をもとに地域ケア会議を実施し、ケアプラン等の検討を行い、必要性について共通認識を持ちたいと考える。 本市においては、生活援助頻回訪問の案件の検討を地域ケア会議では行っていない。 | 地域ケア会議の開催 | 地域ケア会議の開催 開催日数 H30年度 2回 H31年度 3回 H32年度 3回 | 地域ケア会議の開催 平成30年度 1回 平成31年2月28日開催 | △ | 生活援助頻回訪問について、ケアマネジャーからの申請があった案件について地域ケア会議を実施し、他職種の方の意見を聞き、事例検討の可否を行い、地域資源の活用等を含めて、今後も必要に応じて実施したいと考えております。 |